

pxchfon パッケージ

ZR

2009 年 3 月 29 日

1 はじめに

この文書は `pxchfon` パッケージの使用例を示したものである。このパッケージでは「明朝」「ゴシック」に対応するフォントをユーザ指定の日本語フォントに置き換えられる。一度インストールしてしまえば、あとは `LaTeX` 文書内でフォントファイル名を直接指定することで任意のフォントが使える。この文書では明朝を「HG 行書体」(`hgrgy.ttc`)、ゴシックを「HG 創英角ゴ7 体」(`hgrppl.ttc`) に置き換えている。

2 特徴

- ① 既定の和文のフォント（明朝・ゴシック）を指定のものに置き換える。
 - i 既定の欧文ファミリ (`rmfamily`・`sffamily`) を和文フォントの従属欧文に置き換える設定も可能。
 - ii 数式フォントは置換されない。
- ② 一度インストールすると、それだけで任意の日本語フォントに適用できる。
 - i しかも和文のみを置き換える場合なら、インストールも簡単。
 - ii 置き換えるフォントは、`LaTeX` 文書内でファイル名で指定する。
- ③ ただし、等幅のフォントしか利用できない。
 - i 欧文も等幅（半角）になってしまう。
 - ii しかもアクセント付文字・非英語文字（ B 等）が使えない。
 - iii 残念。
- ④ `dvipdfmx` 専用。
 - i 非常に残念。